

総論

注) *は、用語解説に掲載している単語

「千葉市基本構想」に定める基本目標等の実現に向けて、市政運営の中長期的な指針「ちば・ビジョン21」及びその実施計画「第2次5か年計画」、並びに各部署で策定する「個別計画」が一体となって総合的かつ計画的に市政を推進します。

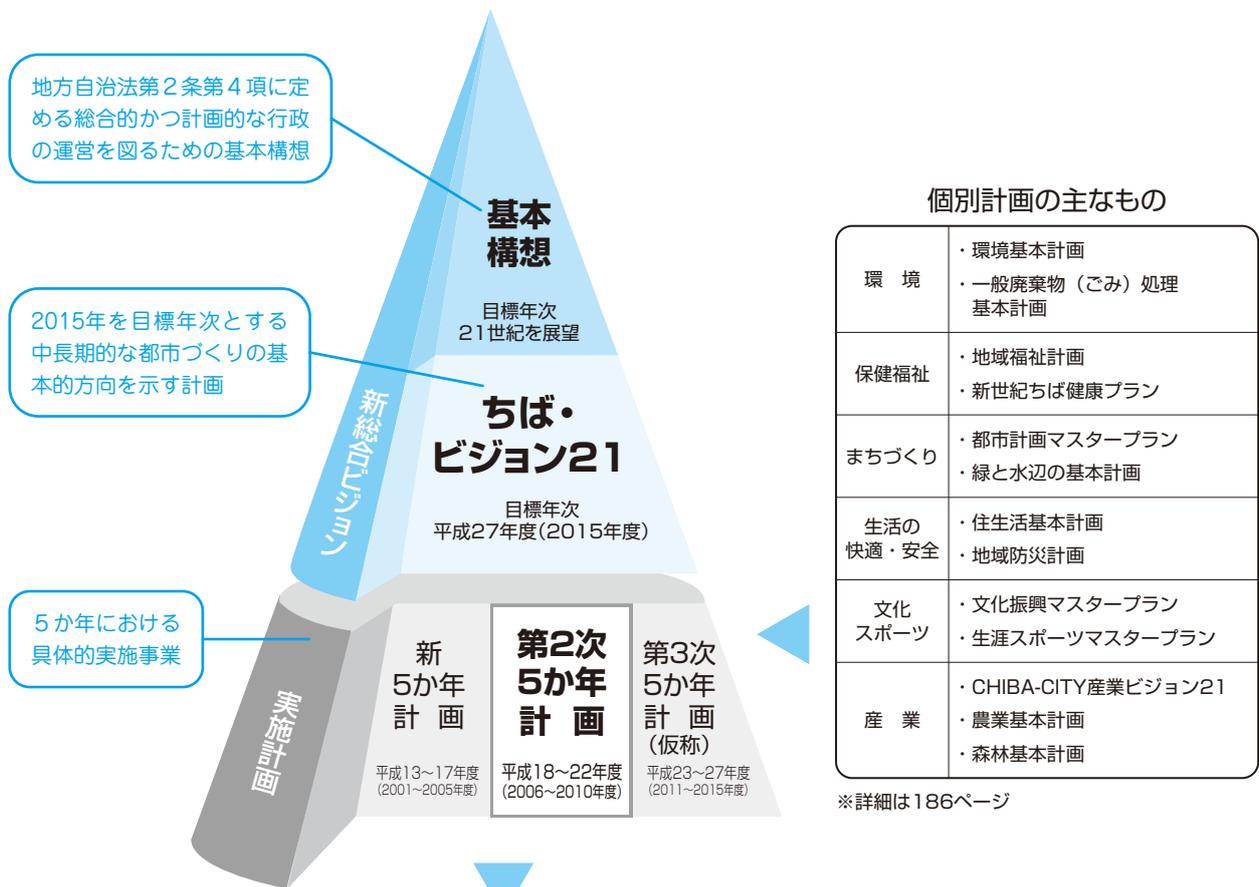
事業は、「毎年度の予算」に事業費を計上して実施します。

総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを具体化するための基本計画・実施計画

個別計画

市政の特定課題に対応するため各部署が策定する計画



環境	・環境基本計画 ・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
保健福祉	・地域福祉計画 ・新世紀ちば健康プラン
まちづくり	・都市計画マスタープラン ・緑と水辺の基本計画
生活の快適・安全	・住生活基本計画 ・地域防災計画
文化スポーツ	・文化振興マスタープラン ・生涯スポーツマスタープラン
産業	・CHIBA-CITY産業ビジョン21 ・農業基本計画 ・森林基本計画

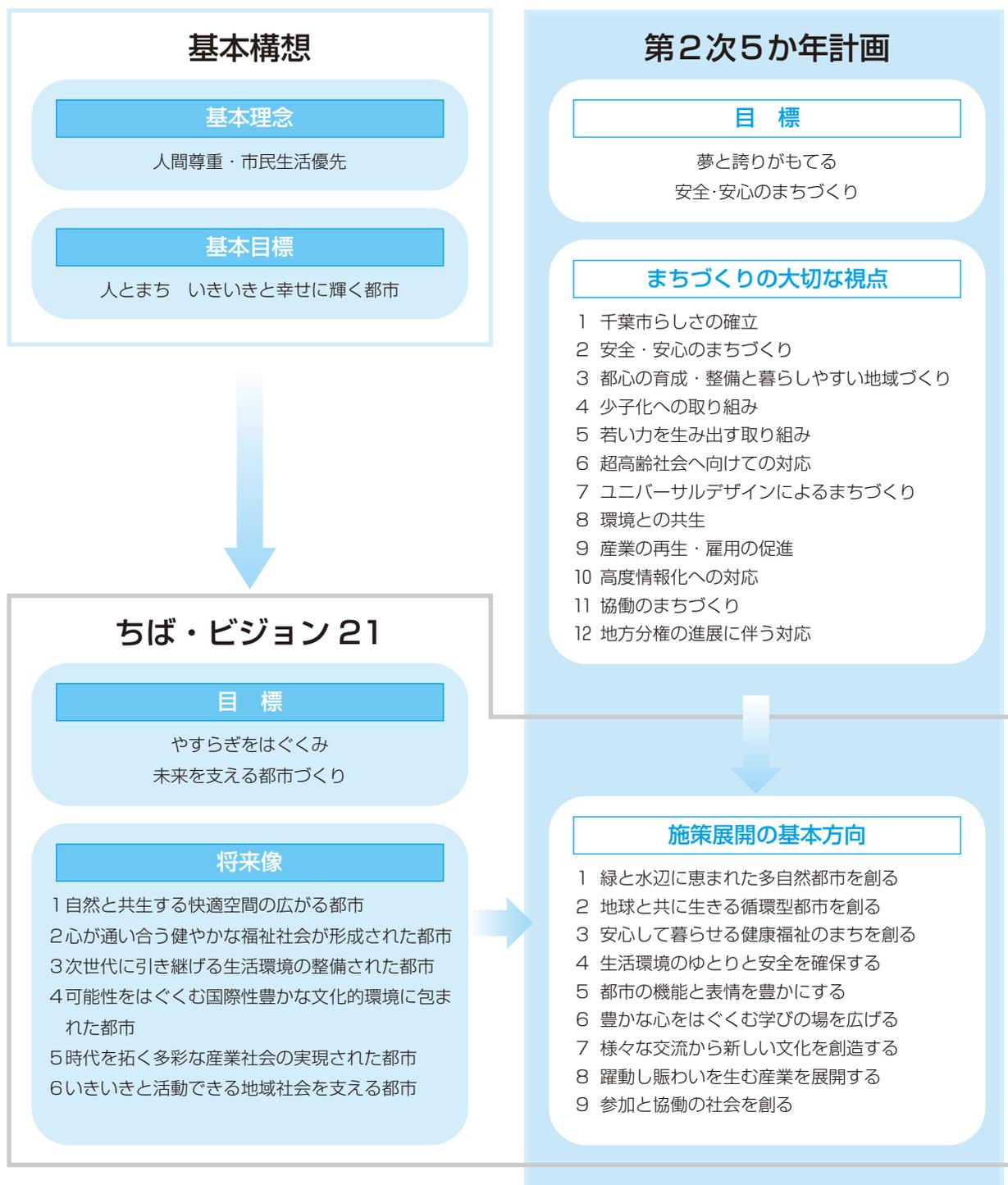
※詳細は186ページ

毎年度の予算

事業の執行

第2次5か年計画の「施策展開の基本方向」等

第2次5か年計画は、「ちば・ビジョン21」に基づく第2次の実施計画として、時代潮流に的確に対応した計画を策定するため、12の「まちづくりの大切な視点」を定め、「ちば・ビジョン21」に掲げた将来像実現のための9つの方向を「施策展開の基本方向」とします。



1 計画策定の趣旨

本市は、「千葉市基本構想」〈平成11年（1999年）12月15日議決〉に基づき、21世紀初頭における中長期的な都市づくりの基本的な方向を示す「ちば・ビジョン21」を、平成12年（2000年）3月に策定するとともに、第1次の実施計画として「千葉市新5か年計画」を策定しました。

計画期間中には、蘇我副都心のまちびらきをしたほか、青葉病院、千葉市斎場など市民生活に直結した大規模施設の整備をするなどの大きな成果を納め、21世紀のまちづくりは概ね順調にスタートできました。

本計画は「ちば・ビジョン21」に基づく第2次の実施計画として、引き続き将来像の実現を目指して、時代の変化に対応した新しい視点を取り入れたまちづくりの具体的施策を総合的に明らかにするとともに、市民・民間団体・企業・行政の活動指針とするため、策定するものです。

2 計画の目標

夢と誇りがもてる 安全・安心のまちづくり

一人ひとりの市民が、自分自身やまちの将来に夢をもつとともに、千葉市に住んでいることに誇りをもち、犯罪や自然災害などに対してはもとより、子育てや健康、環境など地域社会での生活に不安を感じることなく、安全で安心して、いきいきと暮らすことができるまちづくりを目指します。

3 計画の名称

千葉市第2次5か年計画

4 計画の期間

平成18年度（2006年度）を初年度とし、平成22年度（2010年度）を最終年度とする5年間とします。

5 まちづくりの大切な視点

時代潮流に的確に対応した計画を策定するため、12の「まちづくりの大切な視点」を定めます。

(1) 千葉市らしさの確立

市民が夢と誇りをもてる都市にするとともに、都市間競争が激しさを増す中で、個性と魅力を活かした都市づくりが求められています。

このため、本市の地域特性である下総台地に広がる豊かな緑と東京湾の水辺を活かした、里山*・谷津田*の保全、農地等の景観・環境保全機能の維持・復元や、海や河川などの水辺に親しむことのできる空間の整備が必要です。

また、都市イメージの確立や市民の郷土愛を高めていくため、「花の都・ちば」を目指して、花のあふれるまちづくりに積極的に取り組むとともに、先人が残した歴史遺産の保存・活用のほか、文化・スポーツや産業などの分野における新たな千葉市らしさの発信に、市民・民間団体・企業・生産者・行政などが、それぞれの特性を活かしながら一体となって取り組むことが必要です。

(2) 安全・安心のまちづくり

近年、大型で強い台風や新潟県中越地震など大規模な自然災害が発生しており、また、首都直下地震の発生が懸念され、さらに、大規模事故等の危機事象への対応が求められていることから、災害に強い都市づくりが必要です。

また、強盗・窃盗などの犯罪が増加し、市民アンケートでは「市内の治安はよいと思わない・どちらかといえば思わない」と回答した市民が5割に上ることから、犯罪がない都市づくりを目指す必要があります。

(3) 都心の育成・整備と暮らしやすい地域づくり

首都機能の一翼を担う大都市として、千葉都心の再生、幕張新都心の整備、蘇我副都心の育成・整備を行うとともに、3つの都心の有機的な連携を図ったまちづくりを進めていく必要があります。

また、6区の地域特性を反映し、市民が日々の生活を快適に過ごせるよう、地域の環境整備を進めるとともに、既存の公共施設の再整備や一層の有効活用などが必要です。

(4) 少子化への取り組み

少子化の進行に歯止めがかからず、現状のままでは、少子化は今後一層進行すると予想されています。

安心と喜びをもって子どもを生み育てられるよう、子育て家庭を地域や社会全体で支援し、次代を担う子どもを健やかに育てられる環境整備に取り組む必要があります。

(5) 若い力を生み出す取り組み

次代を担う子どもたちや若者をめぐる様々な課題の解決に取り組むことが求められており、学校教育の充実はもとより、学校・家庭・地域が緊密に連携し、子どもたちや若者の生きる力・豊かな心を育成し、健全に成長できる環境整備に取り組む必要があります。

(6) 超高齢社会*へ向けての対応

本市の高齢化率は全国平均を下回っていますが、今後さらに急速な高齢化が見込まれ、元気な高齢者とともに援護の必要な高齢者が増加します。

高齢者は、社会や地域における様々な役割の担い手であるとの認識に立ち、その力を発揮できる仕組みづくりが必要です。また、高齢者が自立した生活を維持するための健康づくりや介護予防への取り組み、さらには、援護の必要な高齢者に対応した在宅・施設サービスの一層の充実が必要です。

(7) ユニバーサルデザイン*によるまちづくり

社会を構成する人の中には、障害者、高齢者、子ども、外国人など多様な人がいます。

様々な個性を持つ市民が共に生きていくため、だれもが暮らしやすく活動しやすい、ユニバーサルデザイン*によるまちづくりを進める必要があります。

(8) 環境との共生

地球温暖化やオゾン層の破壊など地球環境問題に対する市民の認識は着実に広まり、省エネやリサイクルの推進に取り組んでいるところですが、引き続き、大気汚染・水質汚濁、ごみの不法投棄などへの対応が求められています。

環境と共生する都市の実現に向けて、環境に配慮したライフスタイルの確立、循環型社会の形成や本市に残された貴重な自然の保全・再生などについて、市民・民間団体・企業などと連携しながら積極的に取り組んでいく必要があります。

(9) 産業の再生・雇用の促進

地域経済の活性化を図るため、地域資源を活かした産業の集積を促進する必要があります。また、農業生産力を高め農業所得の向上を図るため、大消費地に近い本市の地理的優位性を活かした支援を行う必要があります。

さらに、非正規社員の増加等雇用を取り巻く環境の変化への対応や障害者の雇用を進める必要があります。

(10) 高度情報化への対応

情報通信技術（IT*）は飛躍的に発展していますが、より豊かで快適な生活に情報化の進展を活かしていくため、電子市役所の実現などだれにでも利用しやすいシステムづくりや、IT*に関する市民の学習機会等の充実が必要です。

(11) 協働のまちづくり

よりよい地域づくり・まちづくりのため、市民・民間団体・企業・行政などがそれぞれの役割を果たすとともに、協力することが不可欠です。

今後とも、市民一人ひとりの発意の活用や自主的な活動の促進により、協働のまちづくりに取り組むことが必要です。

(12) 地方分権の進展に伴う対応

地方分権改革の進展に伴い、地域の特性を活かした特色ある都市づくりと自主性・自立性を高めた行財政運営が求められています。

また、新たな行政課題や多様化する市民ニーズに的確に応えるため、施策・事務事業の総合化・重点化などにより、行財政改革をより一層推進することが必要です。

さらに、政令指定都市として、県都として、千葉市域はもとより千葉県の発展のため、周辺市町村、千葉県や首都圏の自治体との協力・連携をより強化することが必要です。

6 施策展開の基本方向

「ちば・ビジョン21」に掲げた将来像実現のための9つの方向を「施策展開の基本方向」とします。

(1) 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る

豊かな緑と水辺を活かしてやすらぎとうるおいのある都市空間を形成し、次代に引き継いでいくため、緑地や里山*・谷津田*などの貴重な自然環境や生態系の保全と活用を図るとともに、海岸・河川などの親水空間等を整備することにより、緑と水辺のネットワークの形成を推進します。

また、公園や街路樹などの整備を推進するとともに、「花の都・ちば」を目指して、花のあふれるまちづくりに積極的に取り組みます。

(2) 地球と共に生きる循環型都市を創る

人間の諸活動による環境への負荷を可能な限り軽減し、良好な地球環境を保全・継承していくため、地球温暖化への対応、環境保全活動の促進、汚染防止対策の充実、自然エネルギーの導入など環境の保全・創造や、ごみの排出抑制と適正処理・リサイクルの推進について、市民・民間団体・企業などと連携しながら、地球にやさしい循環型のまちづくりを進めます。

(3) 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る

だれもが一生を安心して健康に過ごすことができるよう、地域福祉*の推進や保健福祉基盤の充実を図るとともに、保健福祉サービスや医療体制の充実により健康づくりを進めます。

そして、活力ある超高齢社会*の実現に向けて介護サービスをより一層充実していくとともに、高齢者が元気にいきいきと暮らしていける仕組みづくりを進めます。

また、次代を担う子どもを安心と喜びをもって生み、育てることができるよう、働きながら子育てをする環境づくりや子どもと母親の健康づくりを進めるなど、子育て支援施策の充実を図ります。

さらに、障害者の社会参加を促進するとともに、就労を含めた自立支援や地域生活支援の充実を図るなど、障害のある人もない人も共に地域社会で安心して暮らせる社会を目指します。

(4) 生活環境のゆとりと安全を確保する

住宅・住環境、道路や上下水道など生活基盤の整備を、ユニバーサルデザイン*の理念に基づき、計画的に進めます。

また、火災・台風・地震などのあらゆる災害に対応するため、消防・防災体制の充実、水害対策や公共施設の耐震化などを推進するとともに、市民や警察との連携により防犯体制を一層充実・強化し、安全・安心のまちづくりを進めます。

(5) 都市の機能と表情を豊かにする

都市全体の活力や表情を豊かにし、魅力的なまちにするため、千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心をはじめとする各拠点等の機能性を高めるとともに、計画的な市街地整備や既存市街地の機能更新など、快適な市街地環境の整備を進めます。

また、安全で円滑な交通体系の確立を目指し、鉄道・都市モノレール・バスなどの公共交通網や幹線道路などの整備を総合的に進めます。

(6) 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる

次代を担う子どもたちや若者の可能性を伸ばし、社会の一員として必要な生きる力・豊かな心を身につけられるよう、学校教育の充実を図るとともに、家庭教育への支援や地域との連携など、健全に成長できる環境整備に取り組みます。

また、市民の生きがいを支え、豊かな心をはぐくむとともに、社会参加や地域づくりを支援するため、いつでもどこでもだれでもが自ら選び、生涯にわたって楽しく学ぶことのできる学習環境・機会の充実に取り組みます。

(7) 様々な交流から新しい文化を創造する

個性豊かな千葉市らしさを創造し発信できるよう、歴史遺産の保存・活用を図るとともに、文化・芸術・スポーツなどを自ら楽しみ鑑賞・観戦できる環境・機会の充実に取り組みます。

また、幅広い分野で国際交流に取り組むとともに、「国際交流から国際協力へ」という流れを踏まえ、人・もの・情報の交流ネットワークの強化を促進します。

(8) 躍動し賑わいを生む産業を展開する

都市の経済を活性化し、賑わいと魅力がより高まるよう、既存産業の振興と新事業の創出に対する支援を進めるとともに、新たな産業の集積を促進するほか、地域商業の活性化と観光の振興などに取り組みます。

また、農業の振興を図るため、農業生産基盤の充実強化、経営感覚に優れた意欲ある経営体の支援や都市部との市民交流を促進します。

さらに、市民がいきいきと働くことができるよう、雇用対策の充実や勤労者への支援を進めます。

(9) 参加と協働の社会を創る

市民が主体的に社会に参加できるよう、ボランティア活動など社会参加活動を促進する制度や環境づくりを進めるとともに、市民・民間団体・企業などの自発的・積極的な参加による協働のまちづくりの機会の充実に努めます。

また、より豊かで快適な生活の実現のため、情報や知識が共有される情報ネットワーク都市の形成を目指します。

7 施策体系

第1部 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る

- | | |
|---|---|
| <p>第1章 うるおいをはぐむ緑と水辺の保全と創造を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 自然緑地・里山・谷津田の保全と整備 第2節 水辺環境の回復と活用 第3節 緑と水辺のネットワーク化の推進 | <p>第2章 緑あふれる都市空間の保全と創造を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 公園緑地の整備 第2節 公園利用の促進と管理の充実 第3節 緑化の推進 第4節 花のあふれるまちづくり「花の都・ちば」の推進 |
|---|---|

第2部 地球と共に生きる循環型都市を創る

- | | |
|---|---|
| <p>第1章 人に、自然にやさしい環境づくりを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 環境共生都市づくりへの取り組み 第2節 地球環境問題への取り組み 第3節 豊かな自然の保全・再生への取り組み 第4節 良好な大気環境づくりの推進 第5節 良好な水環境づくりの推進 第6節 良好な地質環境づくりの推進 第7節 環境教育・環境保全活動の推進 | <p>第2章 ごみの排出抑制と適正処理・リサイクルを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 資源循環型社会づくりの推進 第2節 ごみの適正処理の推進 第3節 産業廃棄物処理対策の推進 |
|---|---|

第3部 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る

- | | |
|--|--|
| <p>第1章 保健福祉基盤の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 地域福祉の推進 第2節 地域保健福祉体制の充実 | <p>第2章 健康づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 保健サービスの充実 第2節 医療体制の充実 第3節 食の安全と環境衛生の推進 |
| <p>第3章 明るく活力ある超高齢社会を構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 介護予防・生きがい対策の推進 第2節 在宅サービスの充実 第3節 施設サービスの充実 | <p>第4章 安心して子どもを生み、育て、働ける環境づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 子育て支援施策の推進 第2節 子どもと母親の健康づくりの推進 第3節 健全育成環境づくりの推進 第4節 支援を必要とする子どもや家庭への対応 |
| <p>第5章 障害のある人もない人も共に暮らせる社会を実現する</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 障害児療育の充実 第2節 自立と社会参加の促進 第3節 地域生活の支援強化 第4節 施設サービスの充実 | |

第4部 生活環境のゆとりと安全を確保する

- | | |
|--|---|
| <p>第1章 快適な生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 人にやさしいまちづくりの推進 第2節 人と車と地域が共生する道づくりの推進 第3節 住宅・住環境の整備 第4節 市営水道の整備 第5節 排水処理対策の推進 第6節 消費生活の安定・向上 第7節 墓地・斎園環境の整備 | <p>第2章 安全で災害に強いまちづくりを進める</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1節 総合的な防災体制の整備 第2節 消防体制の整備 第3節 崖崩れ対策の推進 第4節 水害対策の推進 第5節 防犯対策の推進 |
|--|---|

第5部 都市の機能と表情を豊かにする

第1章 魅力あるまちづくりを推進する

- 第1節 都市の魅力づくりと情報発信の強化
- 第2節 千葉都心の整備
- 第3節 幕張新都心の整備
- 第4節 蘇我副都心の育成・整備
- 第5節 拠点の育成強化

第2章 快適な市街地環境の整備を推進する

- 第1節 魅力ある都市景観の形成と計画的誘導
- 第2節 既成市街地・市街化進行地域の整備
- 第3節 新市街地の計画的整備

第3章 総合交通体系を確立する

- 第1節 交通体系の充実と連携強化
- 第2節 地域の社会・経済を支える道づくりの推進
- 第3節 鉄道・バス等の整備促進
- 第4節 都市モノレールの整備

第6部 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる

第1章 次代を担う子どもたちをはぐくむ

- 第1節 幼児教育の振興
- 第2節 義務教育の充実
- 第3節 高等学校教育の振興
- 第4節 特別支援教育の振興
- 第5節 高等教育等の振興
- 第6節 青少年の健全育成

第2章 心のふれあう生涯学習社会を振興する

- 第1節 地域づくりを支援する生涯学習の推進
- 第2節 社会教育施設の整備・充実

第7部 様々な交流から新しい文化を創造する

第1章 個性豊かな新しい千葉文化を創造する

- 第1節 地域文化の創造
- 第2節 文化施設の充実と活用
- 第3節 文化財・伝統文化の保存と活用

第2章 スポーツ・レクリエーション活動を振興する

- 第1節 スポーツ・レクリエーション活動の推進
- 第2節 スポーツ・レクリエーション施設の整備

第3章 国際化を推進する

- 第1節 国際交流・協力活動の推進
- 第2節 外国人市民と共に生きる地域社会の形成
- 第3節 国際活動の拠点の形成とネットワークの強化

第8部 躍動し賑わいを生む産業を展開する

第1章 地域経済の振興を図る

- 第1節 中小企業の育成支援と新事業の創出
- 第2節 産業都市形成の推進
- 第3節 商業・業務機能の強化
- 第4節 物流・港湾機能の強化
- 第5節 観光・コンベンションの振興

第2章 都市農林業の振興を図る

- 第1節 農業生産基盤の整備
- 第2節 優れた経営体の育成
- 第3節 農畜産物価格の安定化
- 第4節 環境にやさしい農業の推進
- 第5節 都市部との市民交流の促進
- 第6節 森林の保全と活用

第3章 雇用の促進を図る

- 第1節 雇用の促進
- 第2節 勤労者の支援

第9部 参加と協働の社会を創る

第1章 市民主体の都市を創る

- 第1節 市民に身近な行政の推進
- 第2節 コミュニティづくりの推進
- 第3節 男女共同参画社会の形成
- 第4節 市民公益活動の促進のための環境づくり

第2章 情報ネットワーク都市を実現する

- 第1節 わかりやすい市政情報の提供
- 第2節 電子市役所の実現
- 第3節 たれもが等しく情報を活用できる環境の整備
- 第4節 ネットワークインフラの整備

8 計画の枠組み

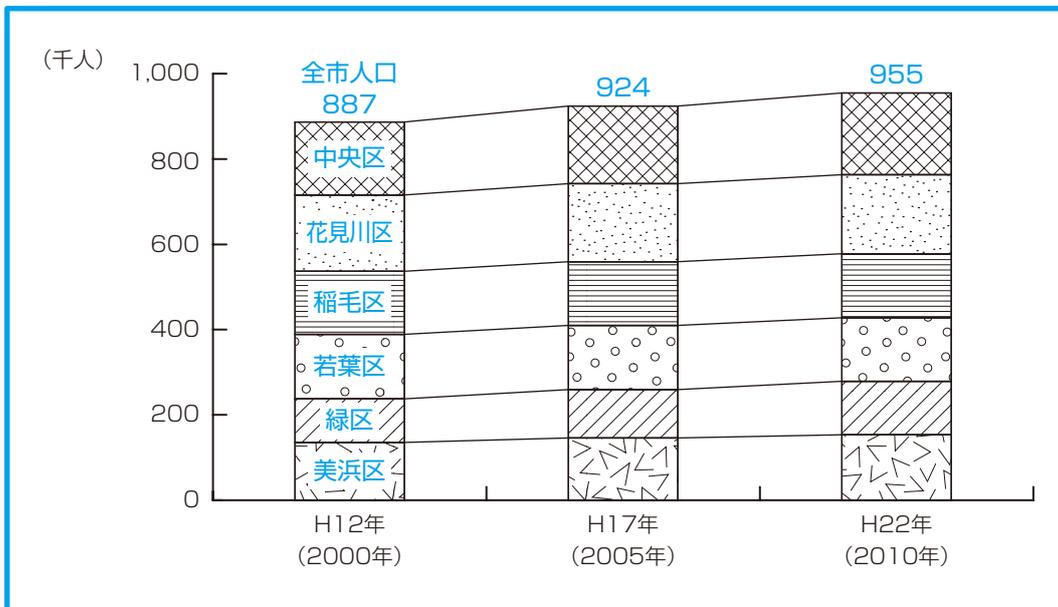
(1) 人口の見通し

① 人口

「平成17年国勢調査」や国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」によれば、我が国の総人口は平成16年（2004年）をピークに、以後、長期の減少過程に入るものと見込まれています。

しかし、東京圏の総人口は、今後も増加を続け、平成27年（2015年）をピークに、以後、減少過程に入るものと見込まれています。

本市の人口は、5年間に3万1,000人増加し、目標年次の平成22年（2010年）には、95万5,000人と見込まれます。



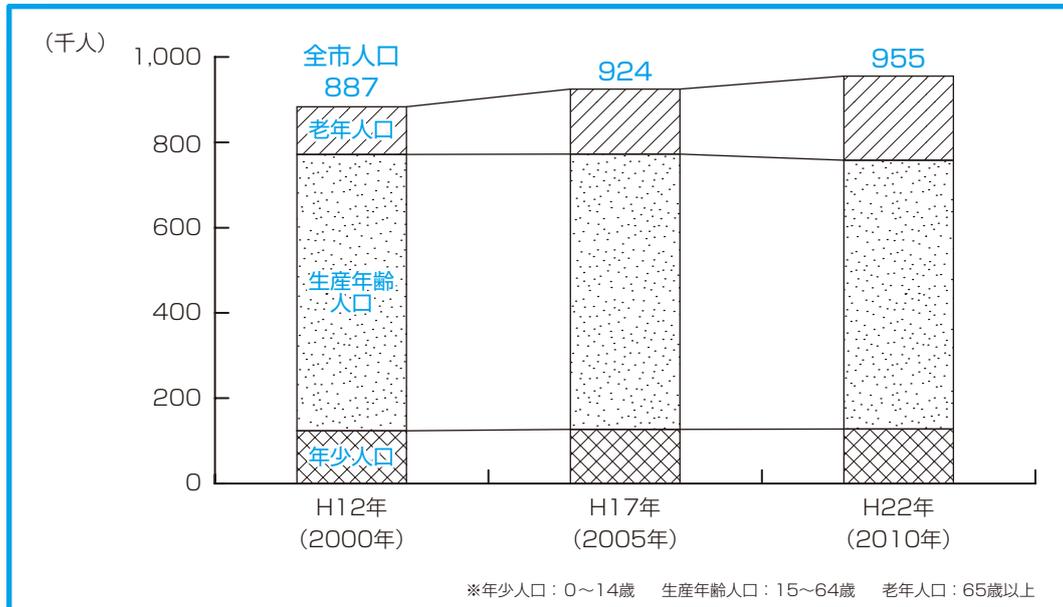
(単位：人)

区 分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)	5年間の伸び率	
				H12~17	H17~22
中 央 区	170,911	184,637	194,000	8.0%	5.1%
花見川区	179,892	181,708	184,000	1.0%	1.3%
稲毛区	147,672	149,685	151,000	1.4%	0.9%
若葉区	151,351	149,898	148,000	-1.0%	-1.3%
緑 区	101,829	112,850	125,000	10.8%	10.8%
美浜区	135,509	145,541	153,000	7.4%	5.1%
全 市	887,164	924,319	955,000	4.2%	3.3%

※平成12年、17年は「国勢調査」

② 年齢3区分別人口

少子化が緩やかに進むとともに、高齢化が急速に進行する中で、生産年齢人口の減少が見込まれます。



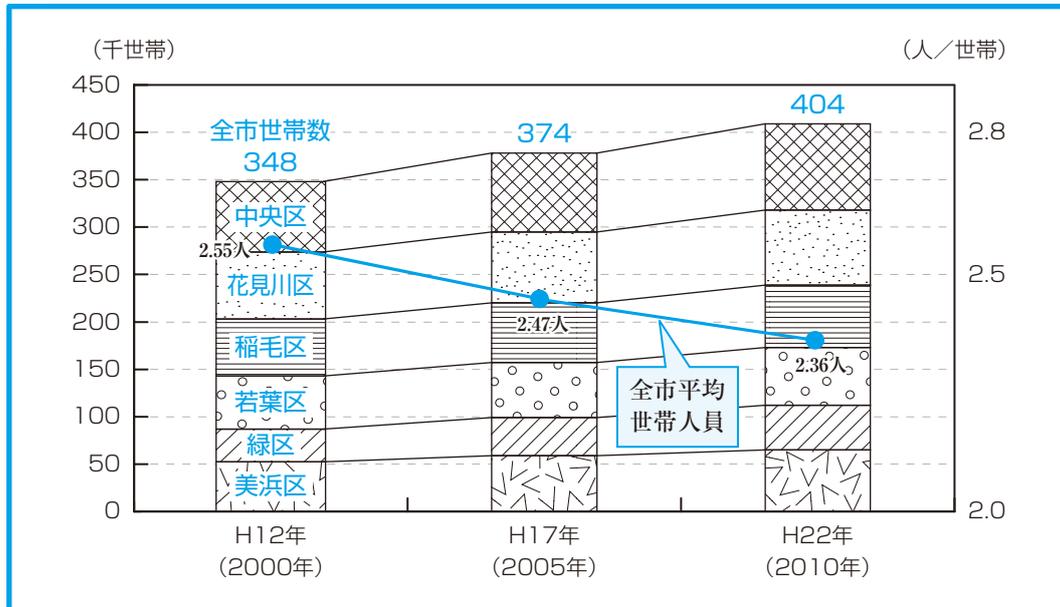
(単位：千人)

区分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)	5年間の伸び率	
				H12～17	H17～22
老年人口	112	152	197	35.7%	29.6%
構成比	12.6%	16.5%	20.6%		
生産年齢人口	647	640	630	-0.3%	-1.6%
構成比	73.0%	69.2%	66.0%		
年少人口	124	128	128	2.4%	0.0%
構成比	14.0%	13.8%	13.4%		
人口総数	887	924	955	4.2%	3.3%

※平成12年、17年は「国勢調査」

③ 世帯数

世帯数は、平均世帯人員の減少により、今後も増加が見込まれます。



(単位：世帯)

区 分	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)
中 央 区	74,548	82,627	90,000
花 見 川 区	70,597	72,547	76,000
稲 毛 区	59,932	62,863	66,000
若 葉 区	56,281	57,621	61,000
緑 区	34,372	39,132	46,000
美 浜 区	52,429	58,976	65,000
全 市	348,159	373,766	404,000
平均世帯人員	2.55	2.47	2.36

※平成12年、17年は「国勢調査」

(2) 財政の見通し

国の財政見通しや本市の財政の状況を考慮するとともに、今後予定される行政改革の効果に加え、財政健全化への新たな取り組みとなる「公債費負担適正化計画*」（平成19年3月策定）への対応を反映して、普通会計ベースの財政収支見通しを行った結果、計画期間（平成18～22年度）の財政規模は総額1兆7,091億円、また計画事業費率は1,834億円と見込んでいます。

普通会計*に普通会計外及び債務負担行為を加えた第2次5か年計画全体の計画事業費率は、2,821億円と見込んでいます。

普通会計*

歳入の見込み				歳出の見込み		
区 分	推計額 (億円)	構成比 (%)	年平均 伸び率 (%)	区 分	推計額 (億円)	構成比 (%)
市 税	9,106	53.3	3.1	計画事業費率	1,834	10.7
市 債	2,394	14.0	-12.0			
その他歳入	5,589	32.7	-3.7			
総 額*	17,089	100.0	-1.3	義務的経費等	15,257	89.3
				総 額*	17,091	100.0

※歳入総額と歳出総額との差は、平成18年度決算における実質収支*による。

(単位：億円)

区 分	計画事業費率
普通会計*	1,834
普通会計外	811
債務負担行為	176
合 計	2,821

9 計画事業数と計画事業費

5年間に予定している計画事業費の総額は、2,818億円です。

なお、各年度における事業は、毎年度の予算編成の中で位置づけます。

区 分	計画事業数	計画事業費(億円)	構成比(%)
第1部 緑と水辺に恵まれた多自然都市を創る	41	93	3.3
第2部 地球と共に生きる循環型都市を創る	33	87	3.1
第3部 安心して暮らせる健康福祉のまちを創る	88	223	7.9
第4部 生活環境のゆとりと安全を確保する	96	1,176	41.7
第5部 都市の機能と表情を豊かにする	99	800	28.4
第6部 豊かな心をはぐくむ学びの場を広げる	36	342	12.1
第7部 様々な交流から新しい文化を創造する	17	39	1.4
第8部 躍動し賑わいを生む産業を展開する	44	32	1.1
第9部 参加と協働の社会を創る	32	27	1.0
合 計	486	2,818	100.0

※計画事業数は、千葉市以外が事業主体となる事業や経常的な業務で計画事業費を計上していない事業も含まれます。

10 市民生活指標

市民生活に密接に関連する47項目を「市民生活指標」として掲げ、第2次5か年計画の推進によりその達成を図るとともに、計画事業の成果を、わかりやすく示す指標として活用します。

なお、この市民生活指標（47項目）と別掲（182ページ）の政策評価指標（33項目）を勘案して、政策の達成度を評価します。

（下線数字はアウトカム指標*1）

部	No	指 標	単位	平成17年度 値	平成22年度 目標値	備 考
1 緑と水辺	1	谷津田*保全区域面積	ha	9	24	谷津田*等保全区域指定に基づく保全面積
	2	親しみのある水辺に整備した割合	%	33.4	56.8	親しみのある河川・水路・調整池の整備率（水辺整備延長/水辺計画延長）
	3	都市公園整備面積	ha	812	847	市内の都市公園面積
	4	大規模な公園の利用者数	人/年	3,004,183	3,140,000	千葉公園、花島公園、動物公園、泉自然公園、昭和の森、稲毛海浜公園、蘇我スポーツ公園の利用者数
	5	緑地協定締結数	地区	172	182	都市緑地法の緑地協定認可
	6	花のあふれるまちづくり参加・協働団体数	団体	345	420	花いっぱい市民活動参加団体
2 環境	7	温室効果ガスの総排出量	千tCO ₂ /年	17,888*	16,796	市内の温室効果ガスの総排出量 ※平成12年度値
	8	BOD達成率	%	55.0	100.0	BOD（生物化学的酸素要求量）環境目標値達成地点数/調査地点数（20）
	9	ごみ（一般廃棄物）の再生利用率	%	24	35	再生利用量/総排出量
	10	一人1日あたりのごみ（一般廃棄物）排出量	g	1,025	865	（総排出量－資源化量）/人口/365日 （閏年は366日）
3 保健・福祉	11	進行した歯周炎に罹患している60歳の割合	%	56.9	50.0	歯周疾患*検診の受診者における罹患者の割合
	12	介護・支援を必要としない高齢者の割合	%	86.36	85.61*	（高齢者人口－要支援・要介護認定者数）/高齢者人口 ※改正介護保険法の介護予防施策を行わない場合は84.44%
	13	いきいきプラザ・センターの利用者数	人/年	547,688	689,000	いきいきプラザ・センターの利用者数
	14	保育所入所待機児童数	人	340	0	
	15	ファミリー・サポート・センター*活動件数	件/年	10,118	20,000	相互援助活動件数
	16	障害者の新規就職者数	人/年	219	280	年度内に新規に就職する障害者の人数
	17	障害者のグループホーム*等の利用者数	人/年	82	214	障害者施設からグループホーム*等へ入居した人数
4 生活の快適・安全	18	駅のバリアフリー化の割合（エレベーター整備等）	%	38.8	83.7	整備済駅数/全駅数
	19	歩道の段差改良率	%	88.0	100.0	歩道の安全かつ円滑な通行を確保するため、車道との段差を解消した歩道箇所の割合
	20	放置自転車台数	台	15,143	7,500	放置禁止区域内等の放置自転車数
	21	耐震診断費助成戸数	戸	226	1,059	「千葉県耐震診断助成制度」による耐震診断助成戸数

*1 事業の結果として市民生活にもたらされる成果を表す指標

部	No	指 標	単位	平成17年度 値	平成22年度 目標値	備 考
4 生活の快適・安全	22	耐震改修費助成戸数	戸	12	102	「千葉市耐震改修助成制度」による耐震改修工事助成戸数
	23	汚水処理人口普及率	%	97.4	98.7	下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の汚水処理施設を利用できる人口/行政人口
		下水道汚水処理普及率	%	96.0	97.3	
	24	床上・床下浸水及び広範囲な道路冠水の対策率	%	0.0	6.3	10年に1回程度の大雨に対して、整備が完了した面積/浸水被害が想定される区域
	25	救急救命士数	人	103	130	救急救命士の養成数
	26	自主防災組織数	組織	798	973	自主防災組織の組織数
	27	防犯パトロール参加市民数	人/年	18,780	57,960	活動届集計
	28	犯罪発生件数	件/年	23,959	15,600	刑法犯認知件数
5 性・まちの 賑わいの 利便	29	狭あい道路拡幅整備事業受付件数	件/年	50	70	幅員4m未満の市道を広げるための用地として、市に対する寄付の申し入れのあった件数
	30	都市計画道路整備率	%	68.9	72.3	整備済延長/都市計画道路総延長
6 教育・生涯 学習	31	学校ボランティア数	人	0	150	障害児サポート、フレンドリーチューターの数
	32	不登校児童生徒数の割合	%	0.96	0.68	不登校児童生徒数/全児童生徒数
	33	生涯学習講座の受講者数	人/年	119,689	179,000	公民館・生涯学習センター等における生涯学習講座の受講者数
	34	図書館図書貸出数	千冊/年	4,177	5,246	市立図書館における図書の貸出冊数
7 文化、スポ ーツ・レク レエーション、 国際化	35	主要文化施設利用者数	人/年	805,220	1,400,000	市民会館・地区ホール・ハーモニープラザ（女性センター）・文化交流プラザの利用者数
	36	博物館・美術館入館者数	人/年	174,111 (147,928)*	166,500	加曾利貝塚博物館・郷土博物館・市美術館の入館者数 ※かっこ内は、郷土博物館のプラネタリウム入館者数を除いた場合
	37	科学館入館者数	人/年	-	300,000	科学館入館者数（H19～）
	38	国際交流ボランティア活動件数	件/年	670	1,000	ボランティア幹旋件数
8 産業	39	ビジネス支援センターの利用者数	人/年	-	110,000	ビジネス支援センターの利用者数（H19～）
	40	企業立地助成数	件	7	29	企業立地助成制度を活用して立地した企業数
	41	映画・TV等のロケーション撮影誘致件数	件/年	-	50	市内での撮影誘致件数
	42	特別栽培農産物栽培品目・面積	品目 ha	6 63	8 70	JA千葉みらい調査実績
	43	市民農園数（区画数）	区画	3,467	3,708	市民農園の設置区画数
9 参加・協 働	44	千葉市民活動センター登録団体数	団体	320	470	
	45	コミュニティセンター利用者数	人/年	1,481,320	2,000,000	コミュニティセンター及び土気あすみが丘プラザの利用者数
	46	各種証明書等の自動交付機（KIOSK端末*）の設置台数	台	0	12	設置台数
	47	電子入札件数	件/年	0	3,000	電子入札利用件数

11 計画の推進にあたって

(1) 市民等の参加と協働、行政内部の連携強化

計画実現のためには、計画の目標や内容を市民と共有し、市民・NPO・民間団体・企業・行政の参加と協働により推進する必要がある、計画のPRに努めます。

また、全庁をあげて計画の実現に取り組むため、組織間の連携強化や総合調整に努めます。

(2) 行政改革の推進と財政の健全化

本市を取り巻く行財政環境は、今後も極めて厳しいと見込まれるため、「千葉市新行政改革推進計画」に基づく行政改革を着実に推進するとともに、「千葉市財政健全化プラン」に基づき財源の積極的な確保や効率的な財政運営に努めます。

(3) 計画の弾力的な運用

第二期地方分権改革や新たな市民ニーズ、現段階で不確定な事業などに的確に対応するため、計画の弾力的な運用に努めるとともに、事務事業評価システムにおける基本事業・施策評価を活用して計画の進行管理を行い、実効性の確保に努めます。